

新山協ニュース

会長 藤井 信
新潟県山岳協会
長岡市学校町3-11-7
TEL 0258-32-4835

事務局 土田幸雄
長岡市中沢4-426-4
TEL 0258-39-2700

編集者 遠藤家之進正和
白根市大字鷲ノ木新田1049
TEL 025-362-5004

第30回自然保護研修会に参加して

新潟県山岳協会の

伊藤 直

6月3日、4日の両日、今年度第1回目の自然保護研修会が、荒川ワンダーフォーゲル、朝日山岳会並びに関川村山の会の主管の本に荒川町において開催された。座学と宿泊は金屋公会堂、野外研修は高坪山にて実施された。

3日午後3時より開会、参加者数は講師の方々を除き47名程、演題に興味をお持ちの地元の方々もおられた。県山岳協会の橋本副会長、七沢自然保護委員長の挨拶、報告の後、関川村山の会平田会長より講師紹介があり座学に入った。

講師の方々とは演題は次のとおりであり、地元に関わり深く時宜に適ったものであった。

赤羽 正春 氏

「奥三面の縄文人」

小池 善茂 氏

「奥三面のカタギ」

柴田 治 氏

「高坪山の植物」

先ず最初の二つの講演では赤羽氏と小池氏が組で登壇さ

れた。小池氏が現役で使用したカタギ装束や道具を装着しながら赤羽氏と小池氏がその一つひとつを説明していくという形式で進められた。三面山岳会の人たちが介添え役をした。小池氏が、袴、上着、カムリ（帽子）を着け、その上に毛皮類、菅笠と着けてい

くと、そこに凛々しきカタギが現出した。上着は綿（縞）、袴とハンバギは麻製、袴にはカモシカの油が染み込ませてあり冬でも暖かいという、胸あてにはムジナ、背中あて（セナカワ）にはカモシカの身体の皮、袖あてにはマミ（ササグマ）の皮、手袋、足

袋にはカモシカの四足の皮を縫い合わせたものをそれぞれ材料として使っている。また、タナワという科の木

の皮から作った縄も紹介された。用途はいろいろだが、輪を作ってカモシカの角に掛けて捕えるというのもあったそうだ。それら全て防寒性、動きやすさ、実用性を兼ね備えており、実践に裏打ちされた伝統の知恵が生かされている。雪崩を避ける言い伝え等も紹介された。例えば、「笠の雪を（短時間に）三度払った



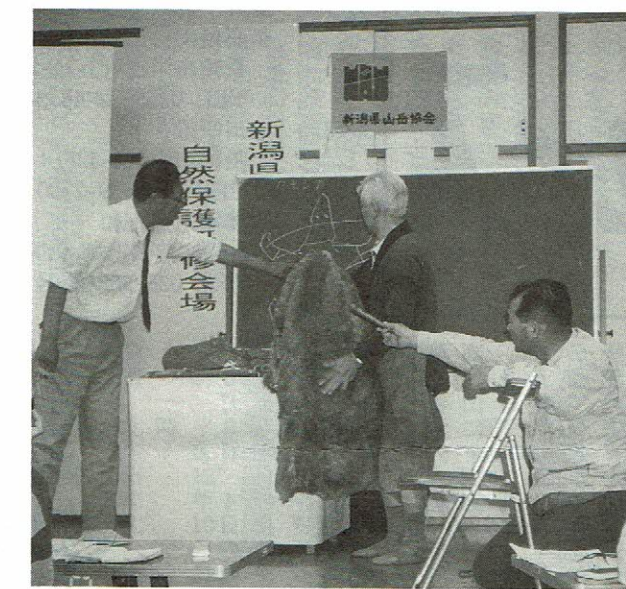
高坪山頂直下のブナ林で

「山に入るな」というように。表層雪崩を避ける知恵である。休憩をはきんで、赤羽氏がスライドを使って旧三面地区の遺跡を中心とした紹介が始められた。この遺跡は12万5千年前からのものであることが出土の黒曜石から明らかにされ、また、4千年前の火焔土器が発見されるなど県内でも一、二を争う内容を持つものであること、元の三面部落のあった場所、アチャ平、元屋敷など居住区を変えながら連続としてこの地に人々が住

みなしてきたことがわかったこと、とすると現代の小池氏など三面の人々はその直接の子孫かもしれないと。まことに、日本人の成り立ちにも関わるロマンあふれる講演であった。それにしても、いよいよこの三面が今秋よりダムへのたん水が始まり、水没していくというのは考古学上の価値からも自然環境保全の立場からも惜しまれてならない。主催者の方々の三面への思いが伝わってくるのであった。

あられ、長年高坪山の植生の調査に情熱を傾け精細な報告をまとめられた。講演は、その報告「高坪山の植物」をテキストとし、氏が撮影の高坪山は荒川と胎内川に挟まれた小さな山塊で、国道七号線及び113号線から至近にある。近年その豊かな自然植生故マスコミなどに取り上げられることがある。その登山道沿いの観察のポイントを述べながらの講義は、時間も足りぬほど充実したものであった。

6時半過ぎに座学を終え、恒例の懇親会に入った。各山岳会毎に各メンバーの自己紹介等を行いつつ、時はいつものように瞬く間に過ぎていった。



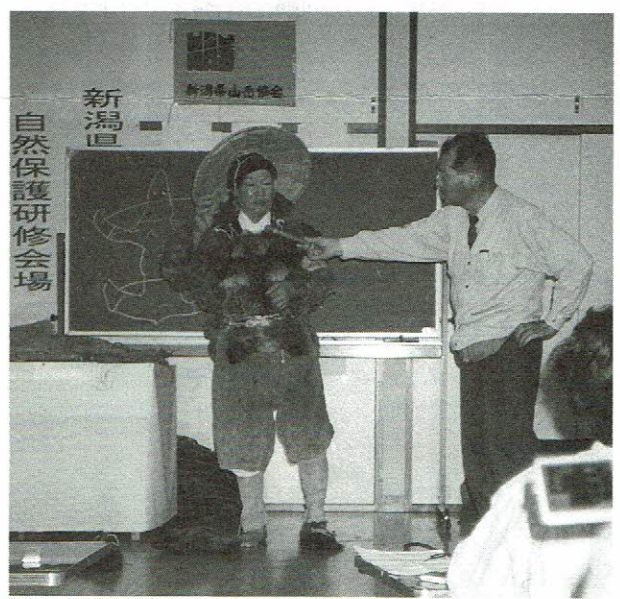
毛皮の利用部位を説明

翌日は予想に反して雨天であった。荒川町総合運動公園駐車場まで車で移動し、8時より野外研修を開始した。参加者は36名、コースを蔵王道から虚空蔵峰道への周回道にとった。登り始めて間もなく雨は止み、要所毎に柴田氏と荒川ワンダーフォーゲルの方々の解説を受けながらの登りは苦にならなかつた。コナラ、ミズナラやヤマボウシの雑木林の道の足元にヒメシヤガが印象的だった。第2休憩所を

過ぎて間もなく小規模なブナ林に変わっていった。足元にはギンリョウソウが見られ、なかにはピンク色に透けて見えるものもあった。ブナの矮小木、タムシバ、リョウブ、ナナカマド等に囲まれ、小広く切り開かれた山頂(570m)に9時20分到着。真新しい地蔵尊をお参りした。充分休憩のあとここで七沢委員長

高坪山頂から虚空蔵峰間の稜線荒川側には立派なブナ林も見られた。このような人里近い小さな山塊によくぞと思われる程に豊かな植生である。大切に護っていききたいものである。途中、虚空蔵尊をお参りし、登山口に戻った(11時50分)。これで今回の行事全てを完了した。

講師の先生方有り難うございました。今研修会を主管された皆様本当にご苦勞様でした。大変内容の濃い2日間でした。



マタギ装束を身につけた小池氏

近くて遠い国 カムチャツカ州 (ロシア) アバチャ山 (2741M) 登頂報告 ①

関川村山の会

横山 征平

はじめに

平成12年7月22日～29日県が実施したカムチャツカ州訪問団に県山協役員として、随行する機会に恵まれ、各種施設や役所の訪問の他、山岳状況視察もできたので、ご報告します。

現在日本からカムチャツカ州へ行くには、ハバロフスク経由で、しかも行くだけで一泊を要するが、将来新潟空港からの直行便が就航すると3時間で行けることになる。

この度の訪問は、直行便の早期実現の働きかけを含んだものである。

団長は平野県出納長、新潟経済同友会、県港湾空港局、新潟市都市整備局、環日本海経済研究所、新潟市漁協、(株)加島屋、(株)栄タイ、日本精機(株)、日報村上支局、県山協2名(伊知地信人、横山征平)、新潟県溪流協議会の一行15名である。

飛行時間

7月22日午後1時ウラジオストク航空のチャーター便(164人乗り)は観光客らでほぼ満席で離陸した。

雲上飛行3時間でカムチャツカ州イリザヴォ空港に着陸である。

宿まで

飛行場から両側に柳やダケカンバが密生する道を約30分ほど走り、宿のペトロパブロフスクホテルのある、州都ペトロパブロフスク・カムチャツキーに着いた。

州都ペトロパブロフスク・カムチャツキーの風景

町はアバチャ湾の奥まった傾斜地に集中しており、州の人口の70%に当たる20万人が住んでいると言う。

住宅間は全部と行ってよいほどアパート住まいとか。

街路樹は柳とダケカンバで覚えるにはよいが、殺風景で極東の地である。

湾岸から傾斜しているの町の全体像をみたり、港湾の風景を眺望するには都合の良い地形だ。

都市部の状況については、この他にもあるが、過去に県山協でカムチャツカに遠征し、トルバチェク山3682Mの登頂報告で本間一人さん、五十嵐篤雄さん、小倉厚さんが紹介されておられるので省略する。(県山協ニュース平成7・11・20 第105号から) ※7月23日から25日まで市内役所や施設の訪問視察のため、県山協ニュースの性格上省略する。(次号へ)



新潟県山岳協会 ホームページ開設

かねてより検討してきました協会のホームページの立上げを諏訪氏の尽力で下記のアドレスで開設しました。

協会の情報源として今後共内容を充実していきたいと考えておりますので、意見等をお願いします。

新潟県山岳協会

ホームページ

<http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

メール

nma@echigo.ne.jp

行事案内

平成12年度

山岳遭難救助研修会開催

山岳遭難救助活動の指導的立場にある者に対し、遭難救助に関する知識と実技並びにその指導法について研修を行い、指導者としての資質の向上を図るため開催されます。

1、期日 平成12年10月20日(金)～24日(火) 5日間

2、会場 文部省登山研修所

3、応募資格 年令50才未満で登山の基本的技術を有し、山岳協会長の推薦する者

4、講習内容

- ・救助活動と安全対策
- ・救助技術と用具
- ・確保理論
- ・事故発生時の対策
- ・救助搬送技術
- ・危急時対策

5、申込締切 平成12年10月3日必着

協会申込日照会 参加希望者は事務局に詳細を照会してください。

締切の関係もあり9月28日迄に申込を。

◆親睦登山◆

期日 平成12年10月21日(土)～22日(日)

会場 浅草岳 1585m
北魚沼郡大白川

音松荘

TEL025791

担当 長岡ハイキングクラブ

会費 8500円

集合 5時30分

懇親会を6時から開催、地元の名酒は大歓迎。

申込 土田幸雄

長岡市中沢

TEL02581

FAX02581

3912700

3912701

締切 10月13日まで

お知らせ

●理事会開催

日時 平成12年10月21日(土)16時～

会場 北魚沼郡大白川 音松荘

議題 平成12年度後期事業について、その他

●第31回自然保護研修会

期日 平成12年10月28日(土)～29日(日)

会場 上越市 下馬場多目的センター

講師 山本 明

受付 28日 午後2時

持参 寝具、食糧品、嗜好品

申込 本間一人に10月20日(金)までにハガキで申込を

問合せ 〒95010204 中蒲原郡横越町横越

TEL0251

38512225

3366

~~~~~ 雑 感 ~~~~~

連日30度を越えていた猛暑もようやく去り、朝夕の涼風が肌に心地良い。

中高年安全登山指導者講習会の全国大会も無事終了しましたが、ホットしている間もなく、富山国体での上位入賞に向け、特訓中の選手をはじめ、協会後期の事業に対処すべく準備されている役員の方もいます。

事業開催日が好天となることを願って止みません。

平成12年度10月専門委員会行事予定

| 日 時         | 行 事 名       | 会 場 | 担 当  |
|-------------|-------------|-----|------|
| 12.10.14～18 | 第55回富山国体    | 富山県 | 国体   |
| 12.10.21～22 | 親睦登山        | 浅草岳 | 総務   |
| 12.10.28～29 | 第31回自然保護研修会 |     | 自然保護 |

日山協・文部省登山研修所等10月行事予定

| 日 時         | 行 事 名      | 会 場 | 担 当   |
|-------------|------------|-----|-------|
| 12.10.12    | 常務理事会      | 東京  | 日山協総務 |
| 12.10.13～18 | 富山国体山岳競技   | 富山県 | 日山協国体 |
| 12.10.20～24 | 山岳遭難救助研修会  | 雑穀谷 | 登山研修所 |
| 12.10.28～29 | 指導者登攀技術研修会 | 福岡  | 日山協指導 |

登山用品専門店

— 信頼できるパートナー —

大新スポーツ

新潟市東堀通6 ☎(025)222-3736

登山・アウトドアの専門店



新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)